

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	らびんぐるっく	事業所番号	3410500809
住所	広島県呉市仁方棧橋通1493-197	管理者名	眞田 崇
電話番号	0823-79-6910	対象年度	2025年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所: 実施日程:令和7年4月1日~令和8年3月31日</p> <p>【活動】生産活動における品質向上を目的とした取り組み</p> <p>【利用者人数】10名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>上部 2箇所 裏側 4箇所 横 1箇所 を目視確認し、カシメに異常 無き事</p> <p>3箇所目視確認 3箇所目視確認②</p> <p>検査で確認する箇所が何箇所あるかを記載しておくこと 検査で見落としがなくなる という利用者さんの意見を 聞き、検査規格を見直した。</p>
<p><目的></p> <p>検査規格の見直しにより、作業内容の標準化と品質の均一化を図り、誰が実施しても同一水準の検査結果が得られる体制を構築することを目的とする。また、手順の明確化により作業効率の向上やミスの防止を実現し、安全性の確保と業務の信頼性向上に寄与する。さらに、教育・引継ぎの円滑化を促進し、継続的な品質改善につなげる。</p> <p>利用者さんの中で、作業中に不良をよく発見する方を検査担当にしました。</p> <p>この利用者さんにとって分かり易い検査規格にすることこそが、結果として、この検査規格が誰にとっても分かり易いものになる。そう思っています。</p>	 <p>2回作動 NG 半掛け状態 NG 部品欠</p> <p>確認内容が同じでも、確認箇所毎に良品画像と、NG画像を付けると見落としがなくなるという意見を基に見直し実施。</p>
<p><結果、成果></p> <p>確認箇所の数を明確化することで、作業の迷いが減り、検査精度と効率の向上を実現している。</p> <p>箇所は違っていても確認する内容は同じものは、画像を載せていなかったが、画像を載せていない箇所をスルーしたことがあった。原因について問うと、検査規格に画像が掲載していれば確実に見ますが、載っていない箇所は見ないということでした。確かに文字だけでは誰が実施しても同一水準の検査結果は得られないと思い、不要と思っていた確認箇所についても画像を掲載。それ以来、ミスの減少や確認のしやすさも高まり、日々の業務の中で効果を継続的に感じている。</p>	<p>【検査の様子】</p>  <p>不良の流出を防ぐ最後の砦。</p> <p>検査規格を目の前に置き、目視で外観や部品欠などを確認、手動でレバーなどの動作確認を実施。</p>

連携先の企業等の意見または評価

<p>この取り組みは、検査規格の見直しにより業務の標準化と品質向上を実現、そしてより高めようとするものであり、組織全体にとって有益な改善活動であると評価できます。実際に作業をする方の意見を取り入れており、その人たちに向けての変更が主なため、より安定した検査結果の提供につながっている点は大きな成果です。また、作業効率の向上やヒューマンエラーの低減にも寄与しており、現場負担の軽減にもつながっていると思います。継続的に品質改善を支える基盤として期待できます。</p> <p>また、最も大きな課題としては不良の削減が挙げられ、年々進歩しています。一つ一つの工程と真剣に向き合い、丁寧にこなしてこそその成果だと思います。安全に気をつける事も簡単のようでそうではありません。大きな事故が起きてなく、一人ひとりの防災意識の高さが伺えます。大きな事故も元を辿れば、小さな事故から始まっていたりします。引き続き、安全第一で努めていただきたいと思います。</p>			
連携先企業名	有限会社 光田産業	担当者名	光田倬子